

市民と市長の座談会(R7.8月) 結果概要

参考資料 1

■日時・場所

開催日時	地 区	場 所	参加者数
8月18日(月) 19:00~20:50	北部地区 (府中地区・日置地区・世屋地区・養老地区・日ヶ谷地区)	日置地区公民館	29人
8月28日(木) 19:00~21:05	南部地区 (由良地区・栗田地区・上宮津地区・宮津地区・吉津地区)	宮津市福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	34人
計			63人

■内 容 「地域の将来を考える」

○市長から市の取組について説明

- ・第7次宮津市総合計画後期基本計画(案)について
- ・市庁舎整備(ミップルビル移転集約)の基本計画等について

○意見交換

■ 主なご意見

いただいたご意見等	第7次宮津市総合計画後期基本計画への反映等
・府中地区の道路の渋滞対策として、府中地区に道の駅を設置し、人の分散化が図れないか。	・「観光振興」の具体的方策に、観光客の分散につながる市内観光の周遊性を高める方策や交通渋滞対策を記載
・仕事の創出・確保についてどう考えているのか。	・「商工業振興」の具体的方策に、企業誘致や創業、事業承継の推進を記載 ・「商工業振興」及び「海の活用」の具体的方策に、宮津エネルギー研究所跡地への企業誘致を京都府、関西電力株式会社と連携して進めていく旨を記載 ・「農林水産業振興」の具体的方策に、新規就農者等の確保・育成、新規就漁者の育成に向けた方策を記載
・エネルギー研究所跡地への企業誘致の進め方は。	・「商工業振興」及び「海の活用」の具体的方策に、京都府、関西電力株式会社と連携して進めていく旨を記載
・新規就農者に対して、しっかりと支援をしてほしい。	・「農林水産業振興」の具体的方策に、担い手への農地集積、新規就農者等の確保・育成を記載
・農業・漁業で生活できるような施策を実施してほしい。	・「農林水産業振興」の具体的方策に、京のブランド産品、特産品等の生産拡大と品質の向上、顧客ニーズを踏まえた農林水産物の生産、加工の推進、地産外商の推進、農泊・漁泊や体験農業・漁業の開業支援等を記載
・オリーブへの支援は、今後どうなるのか。	・「農林水産業振興」の具体的方策に、「京宮津オリーブ」の栽培・加工技術及び品質の向上や販路拡大によるブランドづくりの推進を記載
・移住定住は、Iターンより地縁があるUターンの方がハードルが低い。孫ターン等補助が使えないことがあるので、検討してほしい。	・「空き家対策」の具体的方策に、子育て世帯等の住宅改修支援を記載 ・令和7年度から、子育て世帯へのすまいリフォーム支援の対象を、市民の市内転居(実家への転居含む)まで拡充
・空き家がたくさんあるので、空き家バンクの登録をもっと進めてほしい。また、地域によるPRは難しいので、市がPRをしてほしい。	・「移住・定住促進」及び「空き家対策」の具体的方策に、地域や不動産事業者等と連携した空き家の掘り起こしや空き家バンク情報のHP、SNS等での情報発信、空き家マッチングの仕組みづくりについて記載

いただいたご意見等	第7次宮津市総合計画後期基本計画への反映等
・社会福祉協議会の財政は厳しいが、非常に良いサービスをされているので、継続してほしい。	・「地域福祉」の具体の方策に、宮津市社会福祉協議会と連携した地域福祉活動の促進を記載
・日置診療所の閉鎖後の対応について教えてほしい。また、北部医療センターの出張診療所を設置してもらうことなどできないのか。	・「健康・医療」の具体の方策に、通院回数を減らせるオンライン診療可能な車両が患者の家等に出向く医療MaaSの実施や地域の公民館等での集合型オンライン診療等の検討について記載 ・「健康・医療」の具体の方策に、北部医療センターの機能充実に向けた関係機関への働きかけについて記載 ・「公共交通」の具体の方策に、地域の方の通院の足となる路線バスや交通空白地有償運送への支援について記載
・住みやすく・暮らしやすい地域にするためには、教育費の無償化や高齢者福祉の充実など特徴的な施策が必要だと思う。	・宮津市独自で実施している子育て支援センター「にっこりあ」での無料託児サービスや民間保育施設での一時預かりサービスの一部無償化、全就学前施設における紙おむつ等の無償提供、中学校等を卒業する生徒の保護者を対象とした中学卒業・夢未来応援金の支給等を引き続き実施するとともに、しっかりとPRしていく。 ・「子育て支援」の具体の方策に、子育て家庭の経済的負担の軽減を記載 ・「高齢者福祉」の具体の方策に、多職種連携による在宅医療・介護連携の強化など、本市独自の地域包括ケアシステムの推進を記載
・将来像の実現に向けた視点のSDGsやDXはどこでも使われている言葉なので、宮津独自のユーモアのある言葉の方がいい。	・将来像の実現に向けて取り組む方策等を検討、実施する上で市として重視する視点のため、計画はSDGs、DXとしますが、市民の皆様へお知らせする際は、表現を工夫していきます。
・「共に創る」ために、地域や市民が何をすればいいか分かるような、具体の話をしてほしい。	・引き続き、市民と市長の座談会やどこでも市長室の実施により、市民の皆様との対話を進め、具体のイメージの共有を図っていきます。

市民と市長の座談会(R7.10月) 結果概要

■日時・場所

開催日時	地 区	場 所	参加者数
10月20日(月) 19:00~21:00	上宮津地区	上宮津地区公民館	26人
10月21日(火) 19:00~20:50	日置・世屋地区	日置地区公民館	24人
10月22日(水) 19:00~20:40	由良地区	由良地区公民館	17人
10月23日(木) 19:00~20:25	養老・日ヶ谷地区	養老地区公民館	18人
10月27日(月) 19:00~20:55	宮津地区	宮津市福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	22人
10月28日(火) 19:00~21:05	吉津地区	吉津地区公民館	27人
10月30日(木) 19:00~20:30	栗田地区	栗田地区公民館	17人
10月31日(金) 19:00~20:55	府中地区	府中地区公民館	11人
計			162人

■内 容 「地域の将来を考える」

○市長から市の取組について説明

・第7次宮津市総合計画後期基本計画中間案について

・市庁舎整備及び島崎・浜町ウォーターフロントエリアの活性化について

○意見交換

■ 主なご意見

いただいたご意見等	第7次宮津市総合計画後期基本計画への反映等
・海の活用だけでなく山の活用も入れてほしい。	・山と明記はしていないが、山も重要な地域資源と認識しており、「観光振興」の具体の方策に、地域資源を活かした観光商品の造成等を支援する旨を記載
・島崎・浜町ウォーターフロントエリアの再開発にあたっては、商店街との連携も含めて進めほしい。	・「商工業振興」の具体の方策に、島崎・浜町周辺の再開発をまちなかのにぎわい創出に波及させる旨を記載
・地区にスーパーがなく、市街地まで行かないといけない。何とか地域にスーパーを誘致してほしい。	・「商工業振興」の具体の方策に、市民が買い物ができる環境の維持に向けた仕組みづくりを検討していく旨を記載
・山の荒廃は災害につながるので、何か手立てをしてほしい。	・「農林水産業振興」の具体の方策に、林業労働者の確保と育成を支援する旨を記載 ・「環境」の具体の方策に、森林の適正管理を計画的に進める旨を記載
・「海の活用」にクルーズ客船等を誘致とあるが、誘致にあたっては地元のおもてなしの気持ちが重要である。その辺をしっかりと認識して進めてほしい。	・おもてなしの気持ちをしっかりと持って、進めていきます。
・庁舎移転後の現庁舎の跡地利用はどうなるのか。	・「社会基盤施設活用」の具体の方策に、市民や専門家、民間事業者等の意見を聞きながらあり方を検討する旨を記載
・人手不足や物価高騰がある中、地域が実施するイベント等への支援をお願いしたい。	・「関係人口創出・拡大」の具体の方策に、関係人口を活用し、地域の担い手の確保や活性化等につなげていく旨を記載 ・「市民協働」の具体の方策に、市民が主体的に運営する団体等の実施するまちづくり活動等を支援する旨を記載
・人口が減少する中、何とかしないと宮津市が消滅するぞという危機を持っている。歯止めをかけるには、大胆な発想の転換が必要ではないか。	・人口減少への対策については、特効薬はなく、一つ一つ積み上げていくことが大事であると考えています。 ・国が関係人口に注目する中、市としても、地域の活性化を手伝ってくれる人をどう増やすかが重要であると考えています。 ・「関係人口創出・拡大」の具体の方策に、関係人口を活用し、地域の担い手の確保や活性化等につなげていく旨を記載

いただいたご意見等	第7次宮津市総合計画後期基本計画への反映等
・地域の空き家に全然知らない人が入ってきた時に、自治会で対応するのは難しい。市で何らかの対応を検討いただきたい。	・市の施策を通じて移住する人に対しては、「移住・定住促進」の具体の方策に、みやづ移住コンシェルジュによる伴走支援やみやづ暮らしナビゲーター等による地域と協働での移住者の受入体制の強化をしていく旨を記載
・今、宮津市に住んでいる人が、子どもに宮津市いいよとか、親が頑張っているから私も宮津で働きたいとか思えるように、また、都会と競うのではなく、宮津にある自然や素朴さを大切にしていっていいのではないかな。	・「シティプロモーション」の具体の方策に、市民等と協働した魅力発信や市民共創型プロモーションの取組、インナープロモーションの取組を進めていく旨を記載 ・「学校教育」の具体の方策に、子ども達が地域社会の中で学ぶ「ふるさと宮津学」を推進していく旨を記載
・「地域コミュニティ」に、自治会運営のデジタル化の支援や自治会への依頼事項等の見直しとあるが、どのようなことを考えているのか。ぜひ負担が減るように進めてほしい。	・自治会の持続可能性につなげるため、自治連や各自治会と協議する中で、見直し内容を決めていきます。 ・自治会運営のデジタル化についても、様々な手法があることから、自治連や各自治会と協議する中で、何が良いのか等を検討していきます。
・小学生の子どもが遊べる場所が限られている。また、ボランティアで小学生の子どもが遊べる場所の運営もしているが、スタッフも仕事があり運営が大変である。子ども達が天候に限らず、遊べる場所があればと思う。	・「社会教育」の具体の方策に、地域における子ども達の安全・安心な活動拠点づくりとして、放課後子ども教室を実施していく旨を記載
・子ども達の可能性や独自性を引き出すため、子ども達が挑戦したいことをバックアップすることが、宮津市の将来への投資になるのではないかな。	・「社会教育」の具体の方策に、課題解決型学習の機会創出や放課後探求スクールを実施していく旨を記載 ・「学校教育」の具体の方策に、ICTを活用した一人一人に応じた学びの推進、地域社会の中で自ら考え、行動できる能力等を身に付けられる「ふるさと宮津学」の推進をしていく旨を記載
・府中から田井までの自転車道が繋がっていない部分があるので、その整備についても計画に記載してほしい。	・当該自転車道は府道のため、京都府と連携し議論を進めていきます。

いただいたご意見等	第7次宮津市総合計画後期基本計画への反映等
・多様性の尊重とあるが、海外では移民問題が起こっている国もあり、早急に進めないでほしい。男女のトイレの共同化や外国人の土地取得等をどんどん進めるのはどうかと思う。	・外国人を含めた市外からの移住者が宮津市に転入され、居住されている中、あつれきを生む前に、共生社会を作っていくことが大事であるという考えのもと、多様性の尊重の動きを進めていくものです。 ・本件については、対話をしながら、進めていきます。
・後期基本計画の策定にあたっては、前期基本計画の振り返りが必要である。 ・前期基本計画の達成状況も後期基本計画に入れていくべきではないか。	・後期基本計画の策定にあたっては、R7.5段階で前期基本計画の総括を行った上で、策定しています。 ・前期基本計画の総括内容も踏まえて、後期基本計画の現状と課題の記載を行っています。 ・前期基本計画は令和7年度までの計画であることから、最終的な総括は、令和8年度に実施することとしています。総括結果については、市HP等に公開する予定です。